

令和7年度（令和6年度事業対象）
教育委員会事務点検評価報告書

令和7年11月

久慈市教育委員会

— 目 次 —

I 点検・評価制度の概要

1	根拠	1
2	目的	1
3	対象事業	1
4	点検・評価	1

II 点検・評価の結果

1	学校教育の充実	3
1)	生きる力の育成	
2)	国際理解教育の充実	
3)	特別支援教育の充実	
4)	情報教育の充実	
5)	学習環境の充実	
6)	学校施設の充実	
7)	学校給食の充実	
2	生涯学習の充実	17
1)	生涯学習機会の充実	
2)	文化施設の連携と芸術文化活動の充実	
3)	図書館機能の充実	
4)	地域の歴史と文化の継承と発信	
3	生涯スポーツの振興	25
1)	生涯スポーツの充実	
2)	体育施設の有効活用	
3)	柔道のまちづくりの推進	
	総合評価	28

III 外部点検・評価

1	外部評価委員会の構成	30
2	評価結果	30

参考資料

資料1	令和6年度教育委員会会議開催状況一覧	41
資料2	令和6年度教育関連事業費決算概要	44
資料3	令和7年度教育委員会機構図	48

I 点検・評価制度の概要

1 根拠

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）」第26条において、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表すること、また、点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされており、本報告書はこの規定に基づき作成したものです。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村に設置されている行政委員会です。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、複数の委員による合議により、指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

こうした中、事務事業の点検・評価は、教育委員会が、教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価し、今後の教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 対象事業

点検・評価の対象事業は令和6年度の事業です。

対象範囲は、学校での学習指導・生徒指導に関することや社会教育に関することなど、地教行法第21条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務をはじめ、市長の補助執行として行っている事務を含む、本委員会が所管する事務事業です。

4 点検・評価

点検・評価は、全庁的に毎年実施している「行政評価」により、久慈市総合計画に位置づけられた施策を対象に担当部局において「実施状況報告書」を作成し、部長以上職員で構成する市政戦略会議で総合評価を行うとともに、その内容について

外部評価委員会による点検・評価を行い、教育委員会議の審議を経て決定したものです。

なお、点検・評価の結果については、久慈市総合計画の基本方針「基礎戦略2 総合力豊かな人材を育てるまちづくり」の主要施策ごとに掲載しました。

II 点検・評価の結果

1 学校教育の充実

1) 生きる力の育成

【令和6年度の取組】

(1) 総合学習推進事業費〔10款2項2目〕〔10款3項2目〕

「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成を目指し、学び考える力、豊かな心、健やかな体を育み、社会人として必要な総合力「生きる力」の育成に取り組みました。

本事業では、小・中学校において総合的な学習の時間を通して、多様な体験活動を主とした学習を展開しました。

《事業内容》

- ・ 総合的な学習の時間に係る経費の支援
小学校…農作物の栽培、そば打ち体験、久慈城跡見学など
中学校…宿泊研修やキャリア教育社会体験など

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
1,724,000	1,463,011	0	0	0	1,463,011

(2) 小・中学校音楽発表会実施事業費〔10款1項5目〕

久慈市立小・中学校児童生徒が一堂に会する音楽発表会をアンバーホールで実施しました。音楽発表・鑑賞を通し、児童・生徒の豊かな表現力や音楽性を高める機会とし、学校間の交流や保護者等へ教育活動の理解を深めました。

《事業内容》

- ・ 小学校の部 令和6年11月8日開催（355人参加）
- ・ 中学校の部 令和6年11月7日開催（423人参加）

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
731,000	713,732	0	0	0	713,732

(3) 教育研究所運営費〔10款1項5目〕

教育に関する専門的かつ技術的事項の調査研究を行いました。研究とその成果の普及により教員の資質向上を図り、児童・生徒の適切な指導に寄与しました。

《事業内容》

- ・ 研究委員会設置
- ・ 教育研究所相談員による児童・生徒・保護者向け教育相談
- ・ 教研式標準学力検査（CRT）の実施

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
9,747,089	9,600,741	0	0	0	9,600,741

(4) 中学校文化・体育大会参加補助金〔10款3項1目〕

文化活動を通じて生徒の感性の健全育成、体育活動を通じて生徒の心身の健全育成を図りました。

また、文化・体育大会の県大会、東北並びに全国大会の出場に要する経費に対する補助金を交付しました。

《事業内容》

- ・ 文化部門（県大会6件175人、東北大会3件64人） 1,389,844円
- ・ 体育部門（県大会9件510人、東北大会1件39人、全国大会2件2人） 4,035,842円

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
6,126,000	5,425,686	0	0	0	5,425,686

(5) いわたの復興教育推進事業費〔10款1項5目〕

三陸鉄道の震災学習列車に乗車し、復興の様子を児童生徒自らの目で見るとして、東日本大震災について学習するとともに、まちづくりへの参画意識を高め、自然災害への備えや自らの生き方、あり方を学びました。

《事業内容》

- ・ 震災学習列車の乗車による復興教育
- ・ 防災プログラム参加

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
953,000	937,832	937,832	0	0	0

【施策の評価】

総合的な学習の時間では地域や企業からの協力をいただきながら活動を行いました。今後も児童・生徒の活動の幅や視野を広げるため事業を継続していきます。

市内小・中学校音楽発表会は日頃の音楽活動の成果を発表し合い、他校の発表の鑑賞を通して豊かな表現力や音楽性を高める機会となりました。

CRT（教研式標準学力検査）の結果によると学習状況が良好な児童・生徒の割合は小学生（3～6年生）が82.6%、中学生（1～2年生）では72.4%となりました。指導主事学校訪問事業により、市内各小・中学校を訪問し、各校の状況に応じた授業改善を支え、教員の授業力向上に努めます。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 （R1）	区分	R3	R4	R5	R6	R7
学習状況が良好な児童生徒の割合（小学校） ※CRT：評定2以上の子どもの割合	86.3	目標	86.0	86.0	86.0	87.0	87.0
		実績	87.4	83.8	83.3	82.6	
		達成率	101.6%	97.4%	96.9%	94.9%	
学習状況が良好な児童生徒の割合（中学校） ※CRT：評定3以上の子どもの割合	65.1	目標	67.0	68.0	69.0	70.0	70.0
		実績	75.8	73.2	71.7	72.4	
		達成率	113.1%	107.6%	103.9%	103.4%	
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合（小学校） ※全国学調	70.1	目標	73.0	73.0	75.0	75.0	77.0
		実績	68.6	75.9	78.0	80.0	
		達成率	94.0%	104.0%	104.0%	106.7%	
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合（中学校） ※全国学調	66.4	目標	69.0	69.0	71.0	71.0	73.0
		実績	77.7	73.4	84.0	76.9	
		達成率	112.6%	106.4%	118.3%	108.3%	
体力・運動能力標準以上の児童生徒の割合（小学校） ※県体力・運動能力調査：A、B、Cの児童生徒	77.6	目標	78.0	79.0	80.0	81.0	81.0
		実績	73.9	71.9	74.4	75.4	
		達成率	94.7%	91.0%	93.0%	93.1%	
体力・運動能力標準以上の児童生徒の割合（中学校） ※県体力・運動能力調査：A、B、Cの児童生徒	80.7	目標	81.0	82.0	82.0	82.0	82.0
		実績	82.2	81.0	81.4	74.6	
		達成率	101.5%	98.8%	99.3%	91.0%	

2)	国際理解教育の充実
----	-----------

【令和6年度の取組】

(1) 中高生海外派遣事業費補助金〔10款1項2目〕

国際社会を担う豊かな国際感覚を持った青少年育成のために、中学生2人、高校生3人を姉妹都市アメリカ・フランクリン市に派遣し、ホームステイ研修・学校訪問交流による体験研修を実施しました。また、ニューヨークを訪問し、各種視察研修を実施しました。

《事業内容》

- ・ 学校訪問交流による体験研修、ホームステイ研修、異文化理解に関する研修

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
5,000,000	4,885,222	2,777,000	0	0	2,108,222

(2) 外国語指導助手招へい事業費〔10款3項1目〕

国際化社会の中で、広い視野で総合的に考えることができるグローバル人材の育成のため、ネイティブスピーカーとして外国語指導助手（ALT）による生きた外国語や異文化に直接触れる機会が重要となっています。

JETプログラムの活用や姉妹都市から外国語指導助手を招へいし、市内の小・中学校での国際理解教育・外国語教育の充実に努めました。

《事業内容》

- ・ 外国青年招致（姉妹都市フランクリン市から1人、JETプログラムから2人）

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
15,559,000	13,921,387	0	0	0	13,921,387

【施策の評価】

外国語指導助手(ALT)の派遣により、小・中学校における国際理解教育・外国語教育の充実に向けて取り組みましたが、外国語に対する興味・関心がある児童・生徒の割合は、小学生・中学生いずれも目標値を上回りました。今後さらに充実に図り、目標達成に努めます。

【指標の状況(詳細)】

指標 (単位)	基準値 (R1)	区分	R3	R4	R5	R6	R7
外国語に対する興味・関心がある児童生徒の割合(小学校)※県学調	67.0	目標	68.0	68.0	70.0	70.0	72.0
		実績	70.1	76.5	66.4	75.0	
		達成率	103.1%	112.5%	94.9%	107.1%	
外国語に対する興味・関心がある児童生徒の割合(中学校)※県学調	51.0	目標	53.0	53.0	55.0	55.0	57.0
		実績	68.0	82.4	66.7	69.0	
		達成率	128.3%	155.5%	121.3%	125.5%	

3)	特別支援教育の充実
----	-----------

【令和6年度の取組】

(1) くじかがやきプラン事業費〔10款1項2目〕

特別な支援を要する（注意欠陥多動性ADHD等の発達障がい、知的障がい等）児童・生徒が通常学級に在籍している学校に対して、特別支援教育支援員を配置し、授業や日常生活の支援を行いました。

《事業内容》

- ・ 支援員配置校 小学校（11校20人）、中学校（5校9人）

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
54,170,000	53,966,543	0	0	0	53,966,543

(2) 教育支援委員会経費〔10款1項2目〕

障がいのある児童・生徒の適切な教育を図るため教育委員会の諮問機関として教育支援委員会を設置しています。児童・生徒のよりよい学校生活と将来の自立を見通した教育支援を行いました。

《事業内容》

- ・ 就学支援個別検査・調査員会議の実施
- ・ 教育支援コーディネーター、教育支援相談員の配置
- ・ 保育園等訪問、スキルアップ講演会、スキルアップ研修会、久慈市教育支援チームミーティングの実施

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
8,134,060	8,006,635	0	0	0	8,006,635

(3) 学校適応指導事業費〔10款1項5目〕

不登校等様々な課題に応じた子どもの受け入れ、指導、相談、学校復帰の支援、状況把握及び関係機関とのネットワークを活用した支援を実施しました。

《事業内容》

- ・ 適応指導教室あすなる塾の開設（指導員2人配置、7人通塾）
- ・ 心理検査等の実施（小学5年生及び中学2年生対象）

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
4,229,699	4,194,149	0	0	0	4,194,149

【施策の評価】

教育支援コーディネーターを中心とした就学前の支援及び就学後のくじかがやきプラン特別支援教育支援員・教育支援相談員の配置により、児童・生徒への目の行き届いた支援・指導が可能となっているため、今後も継続します。
「あすなる塾」は、学校不適應の児童・生徒の受け入れ先の選択として貴重な場です。学校復帰を目指し、様々な支援を行います。

4)	情報教育の充実
----	---------

【令和6年度の取組】

(1) 情報処理教育振興事業費〔10款2項2目〕〔10款3項2目〕

「GIGAスクール構想の実現」に向けた学校ICT環境の整備と適正な管理運用を行うとともに、情報化社会に主体的に対応するため、情報モラル教育の充実を図りました。

また、児童制度の個別最適な学びを促進し、一人ひとりの学習履歴を集計・分析する環境を構築するため、AIドリルやデジタル教科書の活用を軸とした学習用クラウド基盤を導入しました。

《事業内容》

- ・ 学習用端末及び校内ネットワーク機器等保守管理業務（業務委託等）
- ・ 学習系ネットワークの円滑化
- ・ 校務用端末機器及び教育システム等の設置（リース）
- ・ 岩手県統一校務支援システム運用保守業務
- ・ クラウドサービス環境構築・ユーザーメンテナンス業務
- ・ AI型ドリル及びデジタル教科書の導入
- ・ ICT支援員の配置

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
92,842,000	89,622,786	3,908,575	0	100,000	85,614,211

【施策の評価】

学習系ネットワーク及び端末機器の適正な運用により、児童・生徒が、整った通信環境でICT機器を活用しています。また、ICT機器を活用した授業や研修会等により、児童・生徒と教職員、保護者の情報教育に関する意識は高まっています。情報モラルについては、各校において研修や指導を行い、児童・生徒だけでなく、保護者とも連携した情報モラル教育が行われるよう指導しました。

教職員の働き方改革を目的とした岩手県クラウド版統合型校務支援システムについては、令和7年1月から本格運用を開始しました。

全ての児童・生徒に対し、AI型ドリル及びデジタル教科書の活用が開始されたことから、授業での効果的な活用が図られるよう研修機会を継続して提供し、ICTを活用できる教職員割合の向上に取り組めます。

また、ICT支援員を配置し、教員に対して授業支援等を行ったことにより、指導力の向上が図られています。今後も継続して支援を充実させ、ICT機器を活用した教育を一層推進します。

【指標の状況(詳細)】

指標 (単位)	基準値 (R1)	区分	R3	R4	R5	R6	R7
児童生徒のICT活用を指導 することができる教員の割合 ※学校における教育の情報 化の実態等に関する調査C1 ～C3	70.1	目標	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0
		実績	81.9	84.9	85.6	89.2	
		達成率	102.4%	99.9%	95.1%	93.9%	

5)	学習環境の充実
----	---------

【令和6年度の取組】

(1) 遠距離通学支援事業費〔10款2項1目〕〔10款3項1目〕

学校の統廃合により遠距離通学となった児童・生徒に対し、各地区及び学校に応じたスクールバス・タクシー運行などの通学支援を行い、安全な通学手段を確保しました。

《事業内容》

- ・ スクールバスの直営運行（山形地区5路線、山根地区2路線）
- ・ スクールタクシーの委託運行（10路線）
- ・ 市民バス利用者への乗車券交付

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
67,073,392	58,933,216	0	0	0	58,933,216

(2) スクールバス整備事業費〔10款3項1目〕

遠距離通学となった児童・生徒の通学手段であるスクールバスの安全な運行のため、老朽化した山形地区スクールバスの更新を行いました。

《事業内容》

- ・ スクールバスの更新（1台）

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
4,594,400	3,454,818	1,430,000	1,700,000	0	324,818

(3) 要保護及び準要保護児童生徒援助費〔10款2項2目〕〔10款3項2目〕

経済的な理由によって就学困難な児童・生徒の家庭に対し、就学援助費を支給しました。

《事業内容》

- ・ 対象者数：児童259人、生徒173人
うち、東日本大震災の被災児童1人、生徒0人
- ・ 支給回数：年3回（7・12・3月）
- ・ 支給費目：14費目（学用品費・通学用品費・新入学児童生徒学用品費・校外活動費・修学旅行費・通学費・体育実技用具費・PTA会費・生徒会費・クラブ活動費・卒業アルバム代等・オンライン学習通信費・給食費・医療費）

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
53,199,000	40,414,618	76,744	0	0	40,337,874

【施策の評価】

児童・生徒の減少に伴って送迎人数は減少傾向にありますが、引き続き各地区及び学校の状況に応じた通学支援を推進していきます。

経済的な理由によって就学困難な児童・生徒数の実支給者数を前年度と比較すると、16人の減少でありましたが、費目の追加により支給金額は増加となりました。

このうち、東日本大震災被災分の児童・生徒数は、前年度と比較すると、2人の減少であり、支給金額も減少となりました。

今後も支給費目の単価の見直しなど、援助事業の充実を図ります。

6)	学校施設の充実
----	---------

【令和6年度の取組】

(1) 学校維持補修経費〔10款2項1目〕〔10款3項1目〕

児童・生徒に安全・快適な教育環境を提供するため、学校施設の維持修繕及び改修工事等を行いました。

《事業内容》

- ・ 維持修繕（小学校89件、中学校61件）
小学校遊具、デスクアンプ、低圧進相コンデンサ交換修繕 等
- ・ 改修工事（小学校7件、中学校3件）
屋根塗装、外装、トイレ、受変電設備改修工事 等

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
136,023,408	130,222,385	23,831,000	59,800,000	542,214	46,049,171

(2) 学校空調設備整備事業費〔10款2項1目〕〔10款3項1目〕

児童・生徒に快適な教育環境を提供するため、小中学校通級教室へのエアコン設置工事を行いました。

《事業内容》

- ・ エアコン設置工事（小学校2校、中学校1校）

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
7,843,000	7,436,000	0	0	7,400,000	36,000

(3) 久慈湊小学校移転改築事業費〔10款2項3目〕

児童に快適な教育環境を提供するため、施設が老朽化し津波浸水区域に立地する久慈湊小学校の移転改築事業を進めました。

《事業内容》

- ・ 地盤変動影響調査 一式
- ・ 移転改築造成設計 一式
- ・ 移転改築工事監理 一式
- ・ 移転改築造成工事 一式
- ・ 移転改築建築工事（主体、電気設備、機械設備） 一式

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
1,675,182,000	1,135,293,320	322,656,000	775,900,000	0	36,737,320

【施策の評価】

学校の維持補修については、児童・生徒に安全・快適な教育環境を提供するため、10件の改修工事と150件の維持修繕を行ったほか、学校空調設備整備事業により、小・中学校の通級教室にエアコンを設置しました。

今後も、小・中学校の適正配置に関する基本方針等との整合性を保ち、学校施設の適切な維持管理等を図りながら、計画的な整備に努めます。

また、久慈湊小学校移転改築事業については、造成工事を進めるとともに、建築工事に着手しました。引き続き早期完成に向け取り組みます。

7)	学校給食の充実
----	---------

【令和6年度の取組】

(1) 学校給食センター運営管理費〔10款5項3目〕

児童・生徒の心身の健全な発達を図るため、児童・生徒及び教職員等約2,500人に対し、安心・安全な給食を提供しました。

正しい食習慣と知識を身につけさせ、また、地域の文化や伝統に対する理解と関心を深めるため、食に関する指導や地場産品の活用、郷土食の提供等を行いました。

施設設備の適切な保守管理及び修繕等により、衛生管理体制の保持と円滑な給食業務の推進を図りました。

《事業内容》

- ・ 学校給食の提供（21校、435,189食）

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
394,751,000	373,769,171	10,822,000	47,800,000	125,198,698	189,948,473

【施策の評価】

家庭環境の多様化等により学校給食の重要性が高まっており、今後も、安心・安全な学校給食の提供を行います。

栄養教諭による食に関する指導を小・中学校合わせて98回実施し、また、郷土食、行事食等を提供することにより、正しい食習慣を学び、食文化や産業についての関心や理解を深め、食に関わる人々や食物への感謝の気持ちの育成に努めました。

食材の購入については、主食の米は久慈市産米及び県産米を、牛乳は久慈地域産を使用し、その他の海産物・野菜類等の地域の産物についても、食材の旬や生産時期に応じて地場産品の活用を努め、地域産食材を3割程度使用しました。

学校給食費について、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響により保護者負担が増えないよう支援しました。

2 生涯学習の充実

1) 生涯学習機会の充実

【令和6年度の取組】

(1) 学校・家庭・地域の連携協力推進事業費〔10款4項1目〕

地域全体で子どもを育む環境を充実するため、家庭教育支援基盤形成事業、放課後子ども教室事業、学校支援地域本部事業の3事業を実施しました。

家庭教育支援基盤形成事業においては、子どもとその保護者を対象に、子育て支援センターや学校と連携し、子どもたちの発達段階に応じた講演会など実施しました。

放課後子ども教室では、各市民センターを拠点として、地域の住民がサポーターや指導者等として参画し、子どもたちの体験活動の見守りや学習支援を行いました。

学校支援地域本部事業では、学校と地域の連携協働体制を構築するため、地域のボランティアの協力を得て、学校における教育活動を支援する取組を実施しました。

このほか、子どもたちを支える関係者が参集し、活動の目指す姿を改めて確認し、実践発表から自分たちの地域の取組を考える研修会を開催しました。

《事業内容》

- ・ 家庭教育支援基盤形成事業（育児講座1回、学童期子育て講座11回、思春期子育て講座8回 参加人数1,213人）
- ・ 放課後子ども教室事業（8市民センター、181回実施、参加者延べ4,214人）
- ・ 学校支援地域本部事業（小中学校18校、1,300回実施、ボランティア延べ4,105人）

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
6,900,000	6,489,311	4,326,000	0	0	2,163,311

(2) 生涯学習推進事業費〔10款4項1目〕

「いつでも、どこでも、だれでも」学習できる環境を目指すとともに、市民の社会教育活動を促進するために、学習プログラムの提供やボランティアバンク等の講師派遣事業を実施しました。

また、二十歳の門出を祝い、大人への自覚を促すことを目的に「二十歳のつどい」を開催し、郷土への愛着を深める機会としました。さらに市民の学習活動の成果発表の場である「生涯学習のつどい」を実施し、作品展示や舞台発表、講演会を開催しました。

《事業内容》

- ・ まちづくり直送便（市職員講師派遣事業）
派遣件数20件、参加者497人
- ・ ボランティアバンク・サークル出前講座（登録講師・団体派遣事業）
派遣件数60件、参加者1,330人
- ・ 生涯学習認定制度（認定事業の単位取得認定事業）
新規認定者：生涯学習士1人、生涯学習奨励士2人
- ・ 二十歳のつどい（祝典・記念行事）
恩師等からのメッセージ上映・記念公演 参加者240人
- ・ 生涯学習のつどい
展示及びステージ発表 観覧者792人、講演会約510人

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
2,079,000	1,645,164	0	0	0	1,645,164

(3) 市民センター事業費〔2款1項7目〕

「いつでも、どこでも、だれでも」学習できる環境を整備し、子どもから高齢者まで、多種多様な学習意欲を喚起・支援するため、各市民センターにおいて、住民のニーズに応じた学習や地域課題に即した事業を実施しました。（家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育、地域活動等）

利用件数 7,898件、利用人数99,290人 ※貸館事業含む

《事業内容》

- | | | | | |
|-------------|------|--------|------|---------|
| ・ 中央市民センター | 利用件数 | 1,614件 | 利用人数 | 18,638人 |
| ・ 長内市民センター | 利用件数 | 2,139件 | 利用人数 | 21,247人 |
| ・ 小久慈市民センター | 利用件数 | 1,621件 | 利用人数 | 20,397人 |
| ・ 大川目市民センター | 利用件数 | 669件 | 利用人数 | 10,370人 |
| ・ 夏井市民センター | 利用件数 | 595件 | 利用人数 | 6,873人 |
| ・ 宇部市民センター | 利用件数 | 360件 | 利用人数 | 4,867人 |
| ・ 侍浜市民センター | 利用件数 | 408件 | 利用人数 | 10,253人 |
| ・ 山根市民センター | 利用件数 | 159件 | 利用人数 | 1,737人 |
| ・ 山形市民センター | 利用件数 | 333件 | 利用人数 | 4,908人 |

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
3,723,044	2,562,534	0	0	0	2,562,534

※ 大川目市民センターは「大川目市民センター指定管理費」において実施のため上記決算額に含まない

(4) 公民館類似施設社会教育事業費補助金〔10款4項1目〕

市民の最も身近な活動の拠点である公民館類似施設（自治公民館）を学習・集会、地域協働の実践の場として、継続的に地域住民が利用できるように、施設の補修・備品購入に係る費用の助成を行いました。

建設費補助率1/3（限度額400万円）、補修費補助率1/3（限度額50万円）、備品費補助率1/2（限度額10万円）

《事業内容》

- ・ 施設修繕費 補助件数9件（主な修繕 外壁塗装、屋根塗装等）
- ・ 備品購入費 補助件数9件（主な備品 エアコン、テーブル、イス等）

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
3,000,000	2,498,000	0	0	2,498,000	0

【施策の評価】

地域全体で子ども達を育む環境づくりとして、学校・家庭・地域の連携を促進する事業を実施しました。多くのボランティアの協力を得て、子どもたちの学習活動を支援しており、活動回数及び参加人数も緩やかではあるものの増加傾向にあります。

また、各市民センターにおいては地域の課題やニーズを捉えた講座等の事業を実施することで、市民の主体的な学びを促し、地域活動への積極的な参加が図られるよう努めました。さらに、市民の自主サークル活動等がより活発に行われるよう、発表の場を設けるなど活動を支援しました。令和6年度の市民1人当たりの市民センター利用回数の実績は3.21回となり目標値を下回っていますが、前年度からは0.38ポイント上回る結果となり、年々増加傾向にあります。目標値には達しませんでした。今後も学習意欲の向上や利用促進に努めるとともに、公民館類似施設の活動や施設老朽化については、地域における社会活動の場を維持するため、補助制度を継続し支援してまいります。

【指標の状況(詳細)】

指標（単位）	基準値 (R1)	区分	R3	R4	R5	R6	R7
市民1人当たりの市民センター利用回数(回)	3.64	目標	3.71	3.78	3.86	3.94	4.02
		実績	2.09	2.26	2.83	3.21	
		達成率	56.3%	60.0%	73.3%	81.5%	
生涯学習の成果を活かして教育活動や地域活動に参加する人数(人)	5,952	目標	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
		実績	6,538	4,794	5,032	5,435	
		達成率	109.0%	80.0%	83.9%	90.6%	

2)	文化施設の連携と芸術文化活動の充実
----	-------------------

【令和6年度の取組】

(1) 文化会館自主事業費〔10款4項3目〕

市民の芸術文化活動への幅広いニーズに応えるために、芸術監督監修による市民参加型オペラ公演や有名俳優陣が出演する演劇、地元出身音楽家の凱旋コンサートなど、多様なジャンルの鑑賞機会を提供しました。

また、吹奏楽クリニック、合唱ワークショップ、オペラワークショップなどの育成・参加型事業を実施しました。

- ・ 鑑賞型事業（9事業10回、入場者数延べ4,260人）
- ・ 育成・参加型事業（14事業102回、入場者数延べ3,301人）

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
30,000,000	26,890,319	192,000	0	21,226,350	5,471,969

(2) 文化会館改修事業費〔10款4項3目〕

久慈市文化会館、山村文化交流センターともに、開館から25年が経過し、各種設備の老朽化が顕著となっており、施設設備の機能向上及び維持を図るため、次のとおり改修（修繕）を実施しました。

《事業内容》

- ・ 久慈市文化会館 空調機更新工事 79,023,000円
- ・ 山村文化交流センター 照明設備LED化改修工事 1,641,750円
- ※令和7年度へ一部繰越
- エアコン設置工事 7,502,000円

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
98,514,000	88,166,750	1,094,250	87,049,750	0	22,750

【施策の評価】

文化施設利用者数は77,852人で目標値を下回りましたが、前年度と比較し6千人増加し、新型コロナ以降増加傾向にあります。また、育成・参加型事業参加数においても前年度より増加したものの、目標を下回り達成できませんでした。今後においても、市民のニーズを把握するとともに、多くの市民が利用できる事業実施と貸館の利用促進に努めてまいります。

入場料収入は、予算額を下回りましたが、事業の助成採択等により収入確保に努めました。

【指標の状況(詳細)】

指標(単位)	基準値 (R1)	区分	R3	R4	R5	R6	R7
文化施設利用者数(人)※	103,127	目標	103,200	103,700	104,200	104,700	105,200
		実績	37,266	58,732	71,491	77,852	
		達成率	36.1%	56.6%	68.6%	74.4%	
育成・参加型事業参加数 (人)	5,708	目標	6,500	5,500	5,500	6,500	5,500
		実績	943	2,723	3,018	3,301	
		達成率	14.5%	49.5%	54.9%	50.8%	

※文化施設利用者数の基準値は、過去5年の利用者数の中央値

3)	図書館機能の充実
----	----------

【令和6年度の取組】

(1) 移動図書館車管理経費〔10款4項2目〕

人口減少や地域の過疎化などにより、図書館への来館が難しい市民や学校等の読書環境を整備するため、移動図書館車サービスを継続し、地域の学習支援や非来館サービスの充実に努めました。

また、久慈市立図書館においては老朽化した車両の修繕を行い、安心安全な運行に努めました。山形図書館においては、地域における利便性の向上を図り、利用者のニーズに合わせた資料や運行経路の見直し、利用につなげるよう工夫しました。

《事業内容》

- ・ 移動図書館車運行状況 延べ利用者数 個人 253人 団体 912団体
貸出冊数 個人 865冊 団体 18,877冊
- ・ サービスステーション（停留所）の見直し、団体利用への広報活動

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
630,930	487,677	0	0	0	487,677

(2) 久慈市立図書館指定管理費〔債務負担〕〔10款4項2目〕

幅広いニーズに応えた図書館サービスを提供するとともに、地域に親しまれ、にぎわいを創出するため、指定管理者と連携して各世代に応じた読書活動や講座等の学習機会の提供を行いました。

また、利用者の更なる満足度の向上のため、電子図書館や読書バリアフリー等のサービスの充実に努めました。

《事業内容》

- ・ 図書館資料の貸出等
(入館者数110,905人、貸出者数30,084人、貸出冊数126,986冊)
- ・ 図書館資料の充実
(蔵書数152,142冊、視聴覚資料1,689本、電子書籍416本)
- ・ 読書推進事業、学習機会の提供
(施設見学・職場体験、各種講座、企画展等)

※ 実績内容は久慈市立図書館・久慈市立山形図書館の総計

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
50,843,000	50,843,000	0	0	0	50,843,000

【施策の評価】

久慈市立図書館は駅前複合施設の特性を生かし、観光交流センターや各種団体と連携した多様な事業に取り組みました。両館併せて入館者数は目標値を大きく上回ることができました。また、市民の読書活動推進のために、図書館車の運行見直しや、読書への関心を高める講座の開催など学習機会の提供を実施しましたが、両館併せて1人当たりの貸出冊数は前年より0.2冊の減少となり、目標を達成できませんでした。

今後も、青少年の読書推進を含め、地域での学習活動の支援に努めるとともに、引き続き関係団体と連携し、親しまれる施設運営に努めます。

【指標の状況(詳細)】

指標(単位)	基準値 (R1)	区分	R3	R4	R5	R6	R7
図書館入館者数(人)	40,751	目標	65,000	70,000	70,000	70,000	70,000
		実績	98,529	113,904	118,782	110,905	
		達成率	151.6%	162.7%	169.7%	158.4%	
市民1人当たりの図書貸出冊数(冊)	2.7	目標	4.0	4.5	5.0	5.0	5.0
		実績	4.1	4.3	4.3	4.1	
		達成率	103.0%	94.4%	86.0%	82.0%	

4)	地域の歴史と文化の継承と発信
----	----------------

【令和6年度の取組】

(1) 文化財保管・展示施設維持管理費〔10款4項1目〕

旧長内中学校跡を活用し運営している久慈市文化財保管・展示施設（通称：久慈市歴史民俗資料室）は、予約制により一般公開を実施しています。施設の敷地で開催される小久慈朝市にあわせての公開や、期間を限定して予約不要で見学に対応する特別公開を実施しました。また文化財デジタルアーカイブ「北三陸ヒストリア」の運用により、インターネット上で久慈市の文化財情報を広く発信しました。このほか、講師派遣や出前授業を実施し、久慈市の歴史と文化について周知を図りました。

《事業内容》

- ・ 久慈市歴史民俗資料室の公開
- ・ 講師派遣、出前授業の実施
- ・ 文化財デジタルアーカイブ「北三陸ヒストリア」による情報発信

単位：円

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	市 債	その他	一般財源
6,102,000	5,963,521	0	0	0	5,963,521

【施策の評価】

令和6年度は356人の来場があり、前年度と比較して約9%の増となりました。学校見学の児童数は年々減少していますが、小久慈朝市に併せて開催した特別公開の見学者が多かったことが全体の来場者増につながりました。また、文化財デジタルアーカイブを活用した久慈の歴史文化の情報発信にも努めました。引き続き、小久慈朝市の開催に併せた特別公開や期間を限定し予約不要で見学できる特別公開を実施するなど、収蔵資料の活用と公開に努めます。

3 生涯スポーツの振興

1) 生涯スポーツの充実

【令和6年度の取組】

(1) 生涯スポーツ推進事業費〔10款5項1目〕

多様な市民ニーズに応えるため、関係団体と連携しながら、スポーツ・レクリエーションの普及に向けて取り組み、市民誰もが主体的、継続的にスポーツに親しみ、健康増進と体力づくりができるような環境の整備・充実に努めました。

また、スポーツ関係団体との連携を強化し、スポーツ人口の拡大や選手の発掘、指導者の育成を図り、競技力の向上に努めました。

《事業内容》

- ・ スポーツ活動の実施（スポーツ教室 69回 延べ1,174人、スポーツ大会 3回 1,589人（市長杯争奪マレットゴルフ大会・もぐらんぴあ駅伝・久慈あまちゃんマラソン大会））
- ・ 各種大会の共催・後援（共催53件 延べ10,078人、後援29件 延べ9,498人）

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
394,586	182,282	0	0	0	182,282

【施策の評価】

生涯スポーツに関する満足度平均値（市民満足度アンケート）は、3.11ポイントと指標の目標を達成しました。

引き続き、スポーツ活動機会の提供を図り、市民満足度がより高まるよう、生涯スポーツの推進に努めます。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 （R1）	区分	R3	R4	R5	R6	R7
生涯スポーツに関する満足度平均値(ポイント) ※市民満足度アンケート	2.96	目標	3.01	3.02	3.03	3.04	3.05
		実績	3.11	3.12	3.10	3.11	
		達成率	103.3%	103.3%	102.3%	102.3%	

2)	体育施設の有効活用
----	-----------

【令和6年度の取組】

(1) 体育施設維持管理費〔10款5項2目〕

体育施設の快適な利用環境の形成を目指すとともに、施設の計画的な改修整備に努めました。

《事業内容》

- ・ 施設維持 指定管理16施設（久慈14施設・山形町2施設） 46,300,490円
- ・ 施設管理（直営管理3施設） 21,130,842円

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
92,154,000	66,431,332	0	41,800,000	1,086,356	23,544,976

(2) 体育施設指定管理費〔債務負担〕〔10款5項2目〕

市民の誰もが運動やスポーツに親しみ、スポーツを生活の中に取り込めるよう、活動の拠点としての体育施設の利用促進と適正管理に努めました。

《事業内容》

- ・ 施設管理（指定管理） 16施設 103,538,000円

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
103,538,000	103,538,000	0	0	0	103,538,000

【施策の評価】

指標である市民1人当たりの体育施設利用回数は、4.19回と目標を下回っていますが、実績としては前年度を0.28回上回っている状況にあり、増加傾向にあります。

さらに利用回数を増やすためには、きっかけづくりが必要であると捉えており、ホームページ・広報による情報発信に努め、併せておとどけスポーツなどの事業内容を工夫し、市民が気軽にスポーツの楽しさや面白さを味わうことができる環境づくりに努め、目標達成に向けて取り組みます。

【指標の状況(詳細)】

指標（単位）	基準値 （R1）	区分	R3	R4	R5	R6	R7
市民1人当たりの体育施設利用回数(回)	4.33	目標	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33
		実績	3.23	3.33	3.91	4.19	
		達成率	74.6%	76.9%	90.3%	96.8%	

3)	柔道のまちづくりの推進
----	-------------

【令和6年度の取組】

(1) 市長杯争奪柔道大会経費〔10款5項1目〕

「柔道のまちづくり」を推進するため、関係団体と連携しながら大会を開催し、柔道の普及発展と競技力の向上を図るとともに「柔道のまち久慈」を情報発信し、地域活性化に努めました。

《事業内容》

- ・ 市長杯争奪柔道大会の開催 159人

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
278,000	246,263	0	0	0	246,263

(2) 三船十段記念館運営管理費〔10款4項4目〕

三船久蔵十段の偉業と功績を後世に伝えるため、展示資料の適正管理を行うとともに、資料収集活動に努めました。

また、柔道の普及と柔道人口の底辺拡大を図るため柔道指導を行い、青少年の健全育成に努めました。

《事業内容》

- ・ 収蔵資料の適正な管理、展示
- ・ 柔道指導による柔道普及、柔道人口の底辺拡大

単位：円

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
14,965,000	14,538,681	0	0	111,690	14,426,991

【施策の評価】

三船十段記念館入館者及び道場利用率は、37.87%で目標を達成できました。令和6年度から、おとどけスポーツなどの実施場所として道場を活用することにより、多くの方に記念館に足を運んでもらったことが利用率の増加につながったものと捉えております。引き続き、親しみやすい柔道のまちづくりに取り組んでまいります。

【指標の状況(詳細)】

指標(単位)	基準値(R1)	区分	R3	R4	R5	R6	R7
三船十段記念館入館者及び道場利用率(%)	29.79	目標	30.11	30.56	31.01	31.46	31.91
		実績	22.30	27.70	31.85	37.87	
		達成率	74.1%	90.6%	102.7%	120.4%	

総 合 評 価

【学校教育の充実】

「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成を目指し、総合的な学習の時間で、地域や企業からの協力を得ながら体験活動を行いました。今後も児童生徒等の活動の幅や視野を広げるため、事業を実施していきます。

学力・体力等の各種数値は、令和5年度と比較し上下しており、半分の指標で目標値を達成しています。今後も指導主事学校訪問事業により、市内各小・中学校を訪問し、各校の状況に応じた授業改善を支え、教員の授業力向上に努めます。

国際理解教育については、外国語指導助手（ALT）の派遣により、小・中学校における国際理解教育・外国語教育の充実に向けて取り組みました。外国語に対する興味・関心がある児童・生徒の割合は、小学生、中学生ともに目標値を上回りました。今後さらに充実を図り、目標達成に努めます。

特別支援教育については、教育支援コーディネーターを中心とした就学前の支援、就学後のくじかがやきプラン特別支援教育支援員・教育支援相談員の配置による、児童・生徒への目の行き届いた支援・指導を継続します。

児童・生徒のICT活用を指導することができる教員の割合は、目標値を下回りましたが、情報通信技術支援員（ICT支援員）を配置し、教員に対して授業支援等を行ったことで、令和5年度と比較し割合が増加しました。令和6年度から、全ての児童・生徒に対し、AI型ドリル等の活用が開始されたところであり、今後もICT機器を活用した教育の一層の充実を図ります。

学校環境については、児童・生徒の減少に伴い、送迎人数は減少傾向にあります。引き続き各地区及び学校の状況に応じた通学支援を推進していきます。

学校施設については、市内小・中学校の通級教室にエアコンを設置しました。また、久慈湊小学校移転改築事業については、造成工事を進めるとともに、建築工事に着手しました。引き続き早期完成に向けて取り組みます。今後も、小・中学校の適正配置に関する基本方針等との整合性を保ち、学校施設の適切な維持管理等を図りながら、計画的な整備に努めます。

学校給食の食材については、主食の米は久慈市産米及び県産米を、牛乳は久慈地域産を使用するなど、食材の旬や生産時期に応じて地場産品の活用に努め、地域産食材を3割程度使用しました。また、学校給食費について、物価高騰の影響により保護者負担が増えないよう支援しました。

【生涯学習の充実】

市民1人当たりの市民センター利用回数は、目標値を下回りましたが、令和5年度から0.38ポイント増加しており、年々増加傾向にあります。今後も学習意欲の向上や利用促進に努めます。

地域全体で子どもたちを育む環境づくりとして、家庭・地域・学校の連携を促進する事業を実施しましたが、活動者の人員不足や固定化により活動回数が減少し、参加人数は目標値を下回りました。令和5年度から増加傾向にあることから、今後も引き続き事業の周知に努め、市民参画による学習機会を提供します。

文化施設利用者は、目標値を下回りましたが、令和5年度から約6千人増加し、年々増加傾向にあります。育成・参加型事業参加数は、目標値を下回りました。今

後も、市民のニーズを把握するとともに、多くの市民が利用できる事業実施に努めます。

久慈市立図書館では、施設の特性を生かした多様な事業の実施に取り組み、入館者は目標値を上回りました。1人当たりの貸出冊数は、目標値を下回っていることから、今後は、青少年の読書推進を含め、地域での学習活動の支援に努めるとともに、引き続き関係団体と連携し、親しまれる施設運営に努めます。

地域の歴史と文化の継承と発信については、久慈市歴史民俗資料室の来場者数、令和5年度から9%の増となりました。今後も収蔵資料の活用と公開に努めます。

【生涯スポーツの振興】

生涯スポーツに関する満足度平均値は、目標値を上回りました。引き続き、スポーツ活動機会の提供を図り、市民満足度がより高まるよう、生涯スポーツの推進に努めます。

市民1人当たりの体育施設利用回数は、目標値を下回りましたが、令和5年度から増加しました。今後は、ホームページ・広報による情報発信に努め、併せて、おとどけスポーツなどの事業内容を工夫し、市民が気軽にスポーツの楽しさや面白さを味わうことができる環境づくりに努めます。

三船十段記念館入館者及び道場利用率は、令和6年度から、おとどけスポーツなどの実施場所として道場を活用したことなどにより、目標値を上回りました。引き続き、親しみやすい柔道のまちづくりに取り組みます。

Ⅲ 外部点検・評価

1 外部評価委員会の構成

役 職	氏 名	所 属
委員長	松 本 和 憲	久慈市スポーツ推進審議会
副委員長	久 慈 匡 弘	久慈市文化財保護調査委員会
委 員	鹿 糠 紀 章	久慈市PTA連合会
委 員	大 芦 教 子	岩手県公立学校退職校長会九戸地区会
委 員	中 村 ゆかり	久慈市社会教育委員

2 評価結果

外部点検評価は、「Ⅱ 点検・評価の結果」の各項目及び教育委員会の活動状況について、次のとおり実施し、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況は適正であると認められた。

1 学校教育の充実

1) 生きる力の育成

■キャリア教育・体験活動の充実

- ・ 地元の職場や業種を中学生の段階で知ることが、高校卒業後の進路選択において地元定着の契機となっている。
- ・ 総合的な学習や復興教育など、体験的な活動は児童生徒の生きる力の基盤となるため、今後も継続的な施策を求めたい。
- ・ 知る楽しみが学ぶ楽しみ・学ぶ力につながるよう、経験を通じた学びの機会の確保が重要である。
- ・ 体験学習は貴重な総合学習であり、次代を担う青少年の健全育成に資するため、継続的な実施が望まれる。

■文化・体育活動の支援

- ・ 音楽発表会は、発表者・鑑賞者双方にとって情操教育の醸成に寄与し、今後の人生にも役立つ教育活動である。
- ・ 中学校文化・体育大会への参加補助金は、家庭の経済的負担軽減に繋がる重要な支援であり、地域移行後も学校との連携を保ちつつ継続してほしい。

■教育者の資質向上

・授業改善や教師の力量向上は、児童生徒の学習状況の改善に直結する重要な課題であり、今後も継続的な取組が求められる。

■自己肯定感の向上

・CRT結果において「自分にはよいところがある」と感じる児童生徒の割合が高まっていることは、学習状況の良好さにもつながっており、評価できる。

■復興教育の意義

・復興教育推進事業は、震災学習を通じて防災意識の向上に寄与しており、継続的な実施が望まれる。

2) 国際理解教育の充実

■外国語教育の推進

・小中学校において外国語への興味関心が高まっていることは好ましく、ALTとの交流が効果的に機能している。

・外国語指導助手の招へいは、異文化理解と外国語教育の充実に大きく貢献しており、評価できる。

■国際交流事業の意義と課題

・中高生の海外派遣事業費補助は、国際感覚の醸成に有効であるが、卒業後の地域貢献との関連性について検証が必要。

・学校外のエンタメ等を通じて外国文化への関心を持つ児童生徒が増えており、事業の継続と充実が望まれる。

・各地域公民館活動への派遣も含め、様々な場面への派遣や学習交流の工夫が求められる。

■評価方法について

・教育施策の成果を示す評価数値の統計方法について、説明が求められる。

3) 特別支援教育の充実

■支援員の配置と人員確保

・障害のある児童生徒へのケアにおいて、支援員の負担が大きいことが懸念されるが、今後も人員確保を継続してほしい。

・「くじかがやきプラン」による特別支援教育支援員の配置は、授業や日常生活の支援に効果を上げており、評価できる。

- ・学校現場からの支援員配置に関する感想や意見を把握し、施策の改善に活かすことが望まれる。

■学校教育への適応支援

- ・障害の有無にかかわらず、学校教育に馴染めない児童生徒が増加傾向にあり、「義務教育が選ばれなくなっている」との見方も出ているが、義務教育は学習だけでなく、社会性や人間関係を学ぶ場であり、あすなる塾のような取組は継続してほしい。
- ・学校適応指導事業は、不登校等の課題に対して状況把握と関係機関との連携による支援が行われており、評価できる。

■教育支援体制の整備

- ・教育支援委員会の設置は、児童生徒のよりよい学校生活と将来の自立を見通した支援に繋がっており、評価できる。
- ・支援や相談が必要な児童生徒に対して、早期の対応と継続的な支援が求められる。

4) 情報教育の充実

■ICT環境整備と指導体制

- ・学校ICT環境が整備され、児童生徒が取り残されることなくICTを活用できる体制が構築されている点は評価できる。
- ・指導教員の育成や支援体制が整っており、時代に応じた情報処理能力の育成が図られている。

■情報モラル・ネットリテラシー教育

- ・端末の使い方だけでなく、ネットリテラシー教育にも力を入れてほしい。
- ・ICT活用とともに、情報モラル教育の充実が重要であり、保護者も巻き込んだ取組が望まれる。
- ・ICTの適正運用を含めた教育が求められており、教員の指導力向上に期待する。

■学習方法の多様性と教育の本質

- ・ネットやAIに頼らない学習方法も同様に重要であり、バランスの取れた教育が必要。
- ・学校教育課長の「本質を見失わないハイブリッドな教育の実践」という考え方に安心感を持った。

■ ICT活用と学習効果

- ・ AI型ドリル等の導入活用により、望ましい学習効果が期待される。
- ・ ICT活用を通じて、児童生徒の主体的な学びを促進することが重要。

■ 情報発信・広報の充実

- ・ 小中学校の行事について、広報や放送等を活用した周知が必要である。

5) 学習環境の充実

■ 通学支援体制の整備

- ・ 中学校統合に伴い、送迎等の予算増が見込まれる中、地域間で学習や部活動の機会に格差が生じないように配慮が必要。
- ・ 学校の統廃合が進む中で、適切な通学支援の実施が求められる。
- ・ 遠距離通学支援事業は、安全かつ円滑な通学を支える重要な施策であり、評価できる。
- ・ スクールバスの更新は、通学環境の安全性確保に資するものであり、評価できる。

■ 就学援助の充実

- ・ 就学援助費の支給は、児童生徒の教育機会確保に不可欠であり、様々な状況に応じた柔軟な支援が求められる。
- ・ 東日本大震災被災関連の支援が減少している背景には、復興政策の効果もあるが、必要な支援は継続すべき。
- ・ 児童生徒がいる限り、援助事業の充実を図ることが重要である。

6) 学校施設の充実

■ 空調設備の整備

- ・ 暑い時期が増えている中で、エアコンの設置は児童生徒にとって非常に有難い取組である。
- ・ 異常な暑さへの対応として、空調設備整備は喫緊の課題であり、予算確保の上で早期整備を望む。
- ・ 空調設備整備は必要不可欠なものであり、早期の対応が求められる。

■ 施設の維持・修繕

- ・ 学校施設の維持補修は、教育環境の安定に直結するものであり、継続的な対応が必要。

- ・安全・安心な教育環境の確保を最優先とし、計画的な施設整備を進めてほしい。
- ・児童生徒の教育環境を保障するため、維持修繕の継続的な実施が望まれる。

■学校改築事業

- ・久慈湊小学校移転改築事業は、快適な教育環境の提供に資する重要な事業であり、早期完成が期待される。

7) 学校給食の充実

■地場産品・地域食材の活用

- ・地域食材の使用を可能な範囲でさらに増やしてほしい。
- ・給食センターでは地場産品の使用にも配慮しており、評価できる。
- ・市内の農産物を活用し、体験学習と連動させる取組が望まれる。

■食育・栄養指導の充実

- ・栄養教諭による指導を通じて、児童生徒の食への関心や理解を育ててほしい。
- ・郷土食や行事食の提供は、食文化の継承と教育的意義が大きく、今後も継続してほしい。

■安全・安心な給食提供

- ・給食センターの運営管理は、安全・安心な給食提供に努めており、評価できる。
- ・くるみやそばなど、重篤なアレルギー要因となる食材の使用を控える配慮に対し、感謝の声が多く寄せられている。

■社会的背景への対応

- ・家庭環境や食生活の多様化に対応した柔軟な給食提供が求められる。
- ・物価高騰などの課題にも対応しながら、質の高い給食の提供を継続してほしい。

2 生涯学習の充実

1) 生涯学習機会の充実

■市民センター・公民館の活用

- ・市民センターが有効に活用されており、地域活動や学習支援の場として機能している。
- ・各市民センターでは、多様な学習意欲に応える支援が行われており、評価できる
- ・公民館類似施設の活動や施設修繕等への補助事業は、地域活動の拠点として必要であり、継続が望まれる。

■地域ぐるみの学習支援

- ・小中学生の学びの場の設定や活動支援に、公民館や地域ボランティアが関わっており、広報等から成果が窺える。
- ・地域全体で子どもを育む環境づくりは、学校・子どもを軸とした地域づくりとして重要である。

■生涯学習推進の意義

- ・生涯学習推進事業は、長寿社会における健康維持の観点からも必要な事業であり、評価できる。
- ・全世帯・全世代に関わる生涯学習への関心が高まることを期待する。

■専門職の配置

- ・各市民センターに社会教育の専門知識を持つ職員を配置する必要がある。

2) 文化施設の連携と芸術文化活動の充実

■鑑賞機会の提供と事業の多様化

- ・地元でコンサート等の鑑賞機会が増えることは、文化・芸術に触れる機会の拡充として非常に有意義である。
- ・文化会館の自主事業では、多様な鑑賞事業や参加型事業が展開されており、評価できる
- ・公演ジャンルの広がりが見られ、今後も市民ニーズに応じた鑑賞機会の設定が望まれる。

■育成・参加型事業の推進

- ・吹奏楽クリニックは、地域の児童生徒にとって貴重な育成機会であり、継続的な実施が望まれる。

・吹奏楽クリニックの成果を踏まえ、久慈市独自のスタイル確立に向けた人材発掘・育成の推進が期待される。

■施設の維持管理と改修

・文化施設の維持管理は困難を伴うが、必要不可欠なものであり、継続的な対応が求められる。

・文化会館改修事業では、老朽化した設備等の修繕が実施されており、評価できる。

■利用促進と課題認識

・利用者数が目標値に達していない点は課題であるが、事業内容の充実が進んでいることは評価できる。

3) 図書館機能の充実

■移動図書館車の活用

・移動図書館車は、来館が難しい市民にとって有効な手段であり、継続的な実施が望まれる。

・学校等では読書機会の拡充に繋がっているが、一般市民への情報提供が十分かどうか懸念がある。

・「必要ない」と言われたいよう、利用率向上に向けた工夫が求められる。

■図書館の運営とサービス

・図書館は居心地が良く、図書の整備や催しも充実しており、評価できる。

・図書館の指定管理は、複合施設を含めて利用者数が順調に推移しており、サービスも充実している。

・今後も市民ニーズに応じた運営を継続するよう、適切な指導が求められる。

■読書機会の確保と周知

・身体的、移動手段等の制約により読書が困難な世代への配慮が必要であり、支援の継続とその周知が望まれる。

4) 地域の歴史と文化の継承と発信

■デジタルアーカイブの活用とPR

・「北三陸ヒストリア」は非常に良い内容であり、今後はさらにPRを強化すべき。

・デジタルアーカイブの内容充実と周知の継続が望まれる。

■公開機会の創出と周知

・歴史民俗資料室は予約制で一般市民の利用が限られるが、小久慈朝市に合わせた公開は見学機会の拡大に繋がり、周知の工夫が必要。

・小久慈朝市に併せた特別公開は、地域づくりと文化財への理解促進に有意義であった。

■文化財施設の維持管理と発信

・文化財保管・展示施設の維持管理は、一般公開と歴史・文化の周知に努めており、評価できる。

・今後は市民以外にも久慈市の歴史文化が広がるよう、観光客の取り込みや情報発信の工夫が求められる。

3 生涯スポーツの振興

1) 生涯スポーツの充実

■指導者の育成と地域連携

- ・指導者の育成は、部活動の地域移行や地域連携に深く関わる重要な要素であり、強く推進してほしい。
- ・生涯スポーツ推進事業では、選手や指導者の発掘・育成に取り組んでおり、評価できる。

■多世代参加型のスポーツ活動

- ・様々なスポーツ・レクリエーション活動が展開されており、児童から高齢者まで楽しんで参加している様子が見受けられる。
- ・「あまちゃんマラソン」「もぐらんぴあ駅伝」などの地域イベントは定着しており、運営への感謝と継続への期待が寄せられている。

■健康増進と体力づくり

- ・生涯スポーツ推進事業は、健康増進と体力づくりの観点からも有意義であり、継続的な取組が望まれる。

2) 体育施設の有効活用

■施設の維持管理と改修

- ・体育施設の維持管理は、計画的な改修整備を含めて必要不可欠であり、評価できる。
- ・中学校統合に伴い、体育館等の空き施設が生じる可能性があるため、維持管理と有効活用を進めてほしい。

■指定管理と利用促進

- ・体育施設の指定管理は、利用促進と適正管理に努めており、評価できる。

■参加促進と情報発信

- ・「おとどけスポーツ」のような事業名の工夫は、参加意欲を高めるきっかけとなり、情報発信の重要性が感じられる
- ・事業の工夫や広報活動によって、市民の参加機会を広げることが期待される。

3) 柔道のまちづくりの推進

■柔道普及と地域活性化

- ・柔道は久慈市の交流人口を増やす可能性を持つ分野であり、少子化の中でも子どもたちの柔道人口増加に向けて継続的な取組が望まれる。
- ・市長杯争奪柔道大会は、柔道の普及と競技力向上、地域活性化に貢献しており、評価できる。

■三船十段記念館の活用

- ・記念館を柔道以外のスポーツ実施場所としても活用する工夫は、郷土の偉人を知る機会としても有意義である。
- ・三船十段記念館の運営管理は、展示資料の適正管理と資料収集に努めており、評価できる。

■施設改善への提案

- ・記念館の映像紹介における弁士人形の機械音が雑音として気になるとの意見があり、音声改善や演出の見直しが望まれる。

評価項目以外

■教育予算と施設維持管理

- ・教育のために多額の予算が投じられていることに対し、地域の未来をつくる人材育成のためには必要な投資であると感じる。
- ・特に施設の維持管理は困難を伴うが、教育環境の安定のためにも継続的な対応をお願いしたい

■施策の評価と児童生徒の育成

- ・各項目において目標・実績・達成率が明示されており、施策の評価として非常に理解しやすかった。
- ・「知・徳・体」の調和のとれた児童・生徒の育成に尽力されていることに感謝する。
- ・児童・生徒には、自らの生きる力を育むとともに、他者を活かす力も備えてほしい。

■情報の信頼性と対応

- ・学校には多くの質問や意見が寄せられていると考えられるが、長期的な信頼性を保つためにも、情報に対してはファクトチェックを徹底してほしい。

参 考 資 料

資料 1 令和 6 年度教育委員会会議開催状況一覧

資料 2 令和 6 年度教育関連事業費決算概要

資料 3 令和 7 年度教育委員会機構図

資料1 令和6年度 教育委員会会議開催状況一覧

開催回数	開催日	定例会 臨時会	議案 報告	議案 番号	件名	提出課等	議決年月日	議決 結果	備考
1	R6.4.26	定例会	議案	1	久慈市学校給食センター運営委員会の委員の委嘱に関し議決を求めることについて	学校給食センター	R6.4.26	原案可決	
			議案	2	久慈市社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて	生涯学習課	R6.4.26	原案可決	
			議案	3	久慈市図書館協議会の委員の委嘱に関し議決を求めることについて	生涯学習課	R6.4.26	原案可決	
			議案	4	久慈市スポーツ推進審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	生涯学習課	R6.4.26	原案可決	
			議案	5	久慈市文化財保護調査委員会の委員の委嘱に関し議決を求めることについて	文化課	R6.4.26	原案可決	
			議案	6	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて	教育総務課	R6.4.26	原案可決	
2	R6.5.28	定例会	議案	1	令和6年度久慈市一般会計補正予算(第2号)に関する意見の申出について	教育総務課	R6.5.28	原案可決	非公開
			議案	2	財産の取得に関する意見の申出について	教育総務課	R6.5.28	原案可決	
			議案	3	久慈市学校給食センター運営委員会の委員の委嘱に関し議決を求めることについて	学校給食センター	R6.5.28	原案可決	
3	R6.6.27	定例会	報告	1	令和6年度久慈市一般会計補正予算(第2号)に関する意見の申出の臨時専決処理について	教育総務課	R6.6.27	承認	
			報告	2	久慈市就学援助事業実施要綱の一部改正について	教育総務課	-	-	
4	R6.7.10	臨時会	議案	1	久慈市立学校職員の懲戒処分の内申に関し議決を求めることについて	学校教育課	R6.7.10	原案可決	非公開
5	R6.7.25	定例会	議案	1	令和7年度に使用する小学校及び中学校の教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	学校教育課	R6.7.25	原案可決	非公開
6	R6.8.22	定例会	議案	1	令和6年度久慈市一般会計補正予算(第4号)に関する意見の申出について	教育総務課	R6.8.22	原案可決	非公開
			報告	2	令和6年度久慈市一般会計補正予算(専決第1号)に関する専決処分の報告について	教育総務課	-	-	
7	R6.9.26	定例会	議案	1	財産の取得に関し議決を求めることについて(追認)に関する意見の申出について	教育総務課	R6.9.26	原案可決	
			議案	2	財産の取得に関し議決を求めることについて(追認)に関する意見の申出について	教育総務課	R6.9.26	原案可決	
8	R6.10.22	定例会	-	-	(付議事件なし)				
9	R6.11.21	定例会	議案	1	令和6年度久慈市一般会計補正予算(第6号)に関する意見の申出について	教育総務課	R6.11.21	原案可決	非公開
			議案	2	久慈市立久慈湊小学校移転改築主体工事の請負契約の締結に関し議決を求めることに関する意見の申出について	学校建設推進室	R6.11.21	原案可決	非公開
			議案	3	久慈市立久慈湊小学校移転改築電気設備工事の請負契約の締結に関し議決を求めることに関する意見の申出について	学校建設推進室	R6.11.21	原案可決	非公開
			議案	4	久慈市立久慈湊小学校移転改築機械設備工事の請負契約の締結に関し議決を求めることに関する意見の申出について	学校建設推進室	R6.11.21	原案可決	非公開
			議案	5	久慈市立久慈湊小学校移転改築造成工事の請負変更契約の締結に関し議決を求めることに関する意見の申出について	学校建設推進室	R6.11.21	原案可決	非公開

開催回数	開催日	定例会 臨時会	議案 報告	議案 番号	件 名	提出課等	議決年月日	議決 結果	備考
			議案	6	令和6年度教育委員会事務点検評価報告書に関し議決を求めることについて	教育総務課	R6.11.21	原案可決	
			報告	1	職員による草刈り作業中の車両損傷事故に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告について	教育総務課	R6.11.21	原案可決	
10	R6.12.6	臨時会	議案	1	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例に関する意見の申出について	教育総務課	R6.12.6	原案可決	非公開
			議案	2	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に関する意見の申出について	教育総務課	R6.12.6	原案可決	非公開
			議案	3	会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例に関する意見の申出について	教育総務課	R6.12.6	原案可決	非公開
			議案	4	令和6年度久慈市一般会計補正予算(第7号)に関する意見の申出について	教育総務課	R6.12.6	原案可決	非公開
11	R6.12.19	定例会	議案	1	山形総合センター条例等の一部を改正する条例に関する意見の申出について	教育総務課	R6.12.19	原案可決	非公開
			議案	1	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に関する意見の申出について	教育総務課	R6.12.19	原案可決	非公開
12	R7.1.16	臨時会	議案	1	令和6年度久慈市一般会計補正予算(第9号)に関する意見の申出について	教育総務課	R7.1.16	原案可決	非公開
13	R7.1.24	定例会	議案	1	学校給食センターの学校給食費に関し議決を求めることについて	学校給食センター	R7.1.24	原案可決	
			報告	1	体育施設条例施行規則等の一部改正について	生涯学習課	-	-	
			報告	2	文化会館条例施行規則の一部改正について	文化課	-	-	
14	R7.2.7	定例会	議案	1	令和7年度教育行政方針演述に関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.2.7	原案可決	非公開
			議案	2	令和7年度久慈市一般会計予算に関する意見の申出について	教育総務課	R7.2.7	原案可決	非公開
			議案	3	令和6年度久慈市一般会計補正予算(第10号)に関する意見の申出について	教育総務課	R7.2.7	原案可決	非公開
			議案	4	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例に関する意見の申出について	教育総務課	R7.2.7	原案可決	非公開
			議案	5	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に関する意見の申出について	教育総務課	R7.2.7	原案可決	非公開
			議案	6	教育奨励基金条例の一部を改正する条例に関する意見の申出について	教育総務課	R7.2.7	原案可決	非公開
			議案	7	市民文芸賞条例の一部を改正する条例に関する意見の申出について	文化課	R7.2.7	原案可決	非公開
			議案	8	基本構想の期間の変更に関し議決を求めることについてに関する意見の申出について	教育総務課	R7.2.7	原案可決	非公開
			議案	9	令和6年度スポーツ表彰規程に基づく被表彰者の決定について	生涯学習課	R7.2.7	原案可決	非公開
			報告	1	久慈市立久慈湊小学校移転改築造成工事の請負変更契約の締結に関する専決処分の報告について	学校建設推進室	-	-	
			報告	2	令和6年度教育奨励基金条例に基づく被表彰者について	教育総務課	-	-	
			報告	3	令和6年度市民文芸賞条例に基づく被表彰者について	文化課	-	-	

開催回数	開催日	定例会 臨時会	議案 報告	議案 番号	件 名	提出課等	議決年月日	議決 結果	備考
15	R7.2.28	臨時会	議案	1	県費負担教職員に係る令和7年度定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.2.28	原案可決	非公開
			議案	2	令和6年度スポーツ表彰規程に基づく被表彰者の決定について	生涯学習課	R7.2.28	原案可決	
16	R7.3.6	定例会	議案	1	教育委員会職員の人事異動に関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.3.6	原案可決	非公開
			議案	2	教育委員会職員の免職に関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.3.6	原案可決	非公開
			議案	3	県費負担教職員の割愛を求めることに関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.3.6	原案可決	非公開
			議案	4	久慈市立学校の閉校に関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.3.6	原案可決	
			議案	5	久慈市立学校の閉校に関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.3.6	原案可決	
			議案	6	久慈市立学校の閉校に関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.3.6	原案可決	
			議案	7	久慈市立学校の閉校に関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.3.6	原案可決	
			議案	8	久慈市立学校の閉校に関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.3.6	原案可決	
			議案	9	久慈市指定有形文化財の指定に関し議決を求めることについて	文化課	R7.3.6	原案可決	
17	R7.3.14	臨時会	議案	1	教育委員会職員の人事異動に関し議決を求めることについて	教育総務課	R7.3.14	原案可決	非公開
			議案	2	令和7年度久慈市一般会計補正予算(第1号)に関する意見の申出について	教育総務課	R7.3.14	原案可決	非公開
18	R7.3.27	臨時会	議案	1	久慈市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について	教育総務課	R7.3.27	原案可決	
			議案	2	外国青年就業規則の一部を改正する規則について	学校教育課	R7.3.27	原案可決	

資料2

令和6年度 総務費(2款・教育関連)決算

款	項目	科目名称	予算現額	支出済額
2	総務費		5,145,064	3,873,303
	1	総務管理費	5,145,064	3,873,303
	1	一般管理費	828,020	828,020
		行政事務一般経費	460,020	460,020
		令和6年台風第5号応急対応経費	368,000	368,000
	6	企画費	234,000	122,749
		地域おこし協力隊設置経費	234,000	122,749
	7	市民センター費	3,723,044	2,562,534
		市民センター事業費	3,723,044	2,562,534
	10	諸費	360,000	360,000
		九戸地方育英会負担金	310,000	310,000
		久慈高等学校長内校教育振興会補助金	50,000	50,000

令和6年度 教育費(10款)決算

款	項目	科目名称	予算現額	支出済額
10	教育費		3,893,560,000	3,172,772,591
	1	教育総務費	313,207,000	302,326,266
	1	教育委員会費	3,093,000	2,981,060
		教育委員報酬	2,688,000	2,688,000
		教育委員活動費	405,000	293,060
	2	事務局費	250,606,000	245,886,282
		特別職給与費	12,346,000	12,306,979
		職員給与費	150,068,000	149,483,070
		教育委員会事務局経費	3,583,832	2,887,447
		教育奨励賞、市民文芸賞褒賞経費	1,111,000	881,285
		児童生徒教職員健康診断経費	12,055,000	9,818,121
		教育支援委員会経費	8,134,040	8,006,635
		中高生海外派遣事業費	94,000	54,127
		くじかがやきプラン事業費	54,170,000	53,966,543
		AED設置経費	880,000	859,320
		幼児ことばの教室事業費	703,491	686,766
		学校運営協議会経費	655,600	250,510
		全国都市教育長協議会負担金	18,000	18,000
		東北都市教育長協議会負担金	5,000	4,700
		岩手県市町村教育委員会協議会負担金	17,000	16,400
		久慈地方教育委員会協議会負担金	695,000	695,000
		岩手県きこえ・ことば・LD等教育研究会負担金	17,000	17,000
		岩手県学校図書館協議会負担金	97,000	93,120
		岩手県特別支援教育研究会負担金	90,000	90,000
		久慈地域生徒指導推進協議会負担金	421,000	421,000
		久慈地区特別支援教育研究協議会負担金	90,000	90,000
		岩手県特別支援学級・通級指導教室設置学校長協議会負担金	54,000	54,000
		諸会議出席負担金	32,000	32,000
		久慈市学校保健会補助金	254,000	254,000
		中高生海外派遣事業費補助金	5,000,000	4,885,222
		奨学金貸付基金積立金	13,982	13,982
		学校施設整備基金積立金	1,055	1,055

款	項	目	科目名称	予算現額	支出済額
		3	教員住宅費	4,044,000	2,495,900
			教員住宅維持管理費	4,044,000	2,495,900
		4	教育職員研修費	126,000	99,767
			教育職員研修経費	126,000	99,767
		5	教育研究指導費	55,338,000	50,863,257
			教育研究所運営費	9,747,089	9,600,741
			研究指定校経費	533,312	528,499
			教師用教科書指導書購入経費	23,579,000	19,438,652
			派遣指導主事経費	10,624,000	10,594,436
			小・中学校音楽発表会実施事業費	731,000	713,732
			学校適応指導事業費	4,229,699	4,194,149
			校外施設学習経費	135,000	134,500
			教師用教科書指導書購入経費〔債務負担〕	4,200,000	4,195,493
			いわての復興教育推進事業費	953,000	937,832
			スクールソーシャルワーカー派遣事業費	563,900	483,223
			岩手県教育研究所連盟負担金	4,000	4,000
			久慈市小中高生徒指導連絡協議会負担金	38,000	38,000
	2		小学校費	2,059,704,000	1,494,522,071
		1	学校管理費	283,493,000	269,936,506
			職員給与費	15,712,000	15,220,011
			学校管理経費	134,760,547	129,754,608
			学校維持補修経費	42,875,408	40,233,573
			学校維持補修経費（繰越明許費）	2,398,000	2,398,000
			遠距離通学支援事業費	9,517,045	8,996,263
			学校図書整備費	2,098,000	2,034,613
			学校保健各種検査経費	1,795,000	1,522,620
			全国市長会学校災害賠償補償保険料	172,000	171,333
			遠距離通学支援事業費〔債務負担〕	10,056,000	6,370,320
			学校空調設備整備事業費	6,413,000	6,028,000
			学校維持補修経費〔債務負担〕	56,357,000	55,973,500
			独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	1,339,000	1,233,665
		2	教育振興費	101,029,000	89,292,245
			理科教材設備費	2,360,000	2,076,734
			要保護及び準要保護児童援助費	28,586,000	20,281,699
			特別支援教育就学奨励費	1,693,000	1,085,684
			情報処理教育振興事業費	60,826,000	58,847,887
			総合学習推進事業費	913,000	719,019
			教育活動費	6,651,000	6,281,222
		3	学校建設費	1,675,182,000	1,135,293,320
			久慈湊小学校移転改築事業費	1,385,535,000	984,788,320
			久慈湊小学校移転改築事業費（繰越明許費）	289,647,000	150,505,000
	3		中学校費	297,246,000	275,424,966
		1	学校管理費	225,946,000	211,148,513
			職員給与費	22,986,000	22,797,182
			外国語指導助手招へい事業費	15,559,000	13,921,387
			学校管理経費	83,410,253	80,257,215
			学校維持補修経費	33,738,000	30,962,812
			学校維持補修経費（繰越明許費）	655,000	654,500
			遠距離通学支援事業費	41,091,347	38,643,933
			学校図書整備費	3,675,000	3,581,484
			学校保健各種検査経費	2,712,000	2,470,820

款	項目	科目名称	予算現額	支出済額
		全国市長会学校災害賠償補償保険料	101,000	100,573
		スクールバス整備事業費	4,594,400	3,454,818
		遠距離通学支援事業費〔債務負担〕	6,409,000	4,922,700
		部活動指導員配置事業費	2,469,000	1,594,673
		学校空調設備整備事業費	1,430,000	1,408,000
		独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	830,000	792,730
		中学校文化・体育大会参加補助金	6,126,000	5,425,686
		岩手県中学校総合体育大会久慈大会運営費補助金	160,000	160,000
	2	教育振興費	71,300,000	64,276,453
		理科教材設備費	1,606,154	1,606,154
		要保護及び準要保護生徒援助費	24,613,000	20,132,919
		特別支援教育就学奨励費	1,563,000	864,637
		情報処理教育振興事業費	32,016,000	30,774,899
		総合学習推進事業費	811,000	743,992
		教育活動費	10,690,846	10,153,852
4		社会教育総務費	545,139,000	475,068,609
	1	社会教育総務費	133,876,000	128,311,832
		社会教育委員報酬	191,000	143,200
		職員給与費	98,272,000	96,088,837
		社会教育委員活動費	90,000	72,520
		社会教育指導員経費	8,891,000	8,666,658
		社会教育行政事務費	321,000	131,642
		生涯学習推進事業費	2,079,000	1,645,164
		文化財保護調査委員活動費	223,000	141,900
		文化財保護事業費	5,339,600	4,411,281
		芸術文化振興事業費	333,400	295,554
		郷土芸能祭開催経費	1,049,000	752,044
		文化財保管・展示施設維持管理費	6,102,000	5,963,521
		学校・家庭・地域の連携協力推進事業費	6,900,000	6,489,311
		岩手県社会教育連絡協議会負担金	31,000	30,500
		岩手県文化財愛護協会負担金	39,000	38,700
		岩手芸術祭巡回美術展負担金	100,000	100,000
		社会教育関係団体体育成補助金	146,000	146,000
		公民館類似施設社会教育事業費補助金	3,000,000	2,498,000
		久慈市教育振興連絡協議会補助金	481,000	481,000
		久慈市郷土芸能保存団体協議会補助金	288,000	216,000
	2	図書館費	72,361,000	70,797,980
		図書館協議会委員報酬	85,000	53,100
		図書館運営管理費	20,171,070	18,795,502
		図書館活動経費	610,000	601,891
		移動図書館車管理経費	630,930	487,677
		久慈市立図書館指定管理費〔債務負担〕	50,843,000	50,843,000
		岩手県図書館協会負担金	10,000	8,500
		岩手県地域視聴覚教育協議会負担金	11,000	8,310
	3	文化会館費	314,765,000	252,424,268
		文化会館運営管理費	147,735,000	136,592,699
		文化会館自主事業費	30,000,000	26,890,319
		文化会館改修事業費	50,600,000	9,143,750
		文化会館改修事業費〔債務負担〕	85,655,000	79,023,000
		公立文化施設連絡協議会負担金	32,000	32,000
		岩手県青少年劇場負担金	743,000	742,500

款	項	目	科目名称	予算現額	支出済額
		4	三船十段記念館費	24,137,000	23,534,529
			職員給与費	9,167,000	8,990,848
			三船十段記念館運営管理費	14,965,000	14,538,681
			岩手県博物館等連絡協議会負担金	5,000	5,000
	5		保健体育費	678,264,000	625,430,679
		1	保健体育総務費	58,898,000	54,521,090
			職員給与費	33,791,000	32,108,213
			スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員経費	1,764,200	1,649,715
			社会体育行政事務費	199,680	95,380
			学校体育施設開放事業費	1,078,000	1,043,529
			生涯スポーツ推進事業費	394,586	182,282
			スポーツ振興号管理経費	1,327,534	1,159,542
			柔道タウン推進事業費	1,376,000	1,028,140
			三船十段杯争奪柔道大会経費	1,838,000	1,713,973
			市長杯争奪柔道大会経費	278,000	246,263
			岩手県スポーツ推進委員協議会負担金	56,000	56,000
			岩手県公立武道館協議会負担金	5,000	5,000
			久慈地区ふれあい柔道・剣道大会開催負担金	145,000	145,000
			久慈もぐらんびあ駅伝競走大会負担金	850,000	850,000
			久慈市民体育大会負担金	1,000,000	1,000,000
			岩手県スポーツ施設協会負担金	2,000	2,000
			地域海洋センター岩手県連絡協議会負担金	30,000	30,000
			あまちゃんマラソン大会負担金	2,500,000	2,500,000
			久慈市体育協会補助金	5,907,000	5,522,180
			スポーツ少年団育成事業費補助金	1,770,000	1,562,400
			生涯スポーツ全国大会等出場経費補助金	4,586,000	3,621,473
		2	体育施設費	195,692,000	169,969,332
			体育施設指定管理費〔債務負担〕	103,538,000	103,538,000
			体育施設維持管理費	92,154,000	66,431,332
		3	学校給食費	423,674,000	400,940,257
			学校給食センター運営委員会委員報酬	61,000	47,200
			職員給与費	28,846,000	27,108,886
			学校給食センター運営管理費	394,751,000	373,769,171
			岩手県学校給食センター協議会負担金	6,000	6,000
			久慈地区学校給食センター連絡協議会負担金	10,000	9,000

令和7年度教育委員会機構図

